

「第7回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム」 一般向けセッション 【15日】

一般向けセッションに参加された方へ 事後評価アンケート ご協力のお願い

事務局使用欄

このたびは、本シンポジウム一般向けセッションにご参加いただき、ありがとうございます。
今後の参考に、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。該当する個所に ☐ をお付けください。
本日終了時（ご退出時）、出口回収箱に入れて下さい。

Q1 今回の一般向けセッションをどちらでお知りになりましたか。（複数回答可）

- ☐ ①新聞・雑誌の記事、情報欄（紙・誌名： _____）
- ☐ ②環境ホルモン学会からの案内
- ☐ ③知人からの紹介
- ☐ ④自治体広報
- ☐ ⑤環境省のホームページ
- ☐ ⑥その他（ _____ ）

Q2 今回の一般向けセッションをどのようなところに興味をお持ちになって参加を申込みましたか。
該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

- ☐ ①特別講演「ホルモンのはたらき」養老 孟司先生
- ☐ ②取組の現状
- ☐ ③パネルディスカッション「環境ホルモン問題をどう伝えていきますか」
- ☐ ④専門家向けセッションに参加したため
- ☐ ⑤その他

Q3 今回の一般向けセッションに実際に参加された感想をお教えてください。

◆ 特別講演（養老 孟司 氏 「ホルモンのはたらき」）について

1) 興味

1 ☐ 大変興味深かった 2 ☐ 興味深かった 3 ☐ あまり興味深くなかった 4 ☐ つまらなかった

2) 理解

1 ☐ よくわかった 2 ☐ 大体わかった 3 ☐ あまりわからなかった 4 ☐ 全くわからなかった

* ご感想：

[_____]

◆ 「取組の現状」について

3) 興味

1 ☐ 大変興味深かった 2 ☐ 興味深かった 3 ☐ あまり興味深くなかった 4 ☐ つまらなかった

4) 理解

1 ☐ よくわかった 2 ☐ 大体わかった 3 ☐ あまりわからなかった 4 ☐ 全くわからなかった

* ご感想：

[_____]

◆「パネルディスカッション」について

5) 興味

1 ☐ 大変興味深かった 2 ☐ 興味深かった 3 ☐ あまり興味深くなかった 4 ☐ つまらなかった

6) 理解

1 ☐ よくわかった 2 ☐ 大体わかった 3 ☐ あまりわからなかった 4 ☐ 全くわからなかった

*ご感想:

[]

◆一般向けセッション全体について

7) 一般向けセッションに参加して、環境ホルモン問題に関する考えはどう変わりましたか？

i) 関心の程度

1 ☐ 関心が深まった 2 ☐ 特に変わらない 3 ☐ 関心が薄れた

ii) 環境ホルモン問題への理解の程度

1 ☐ 理解が深まった 2 ☐ 特に変わらない 3 ☐ かえってわからなくなった

8) 今回のシンポジウムに参加して満足されましたか？

1 ☐ 十分満足 2 ☐ まあまあ満足 3 ☐ やや不満 4 ☐ 不満 5 ☐ 特に知りたいことはなかった

9) その他ご感想をお聞かせください。

[]

Q4 次回、このようなシンポジウムに参加するとしたら、どんなテーマ、講師、時間、場所、形式などを期待されますか。どんなことでも構いませんので、ご回答ください。

[]

Q5 専門家向けセッション（12月16日、17日）にもご参加予定でしょうか？

☐ はい ☐ いいえ

Q6 差しし支えのない範囲であなたのプロフィールをお教えてください。

年齢	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上	性別	男・女
職業	学生・化学物質関係業界（研究者を除く）・研究者（分野： ） 行政関係者・メディア関係者・その他（ ）		
環境ホルモン学会		会員・非会員	

ご協力ありがとうございました。

感想、次回への希望(一般向けプログラム)

その他の感想	次回への希望	プロフィール		
		年齢	性別	職業
	地元で環境に携わっている人の声、現場(一般)の声の尊重・・・(データーでなく観察・プロの勤も)	50代	女	学校関係
	”ゴミ問題”をとりあげて欲しい!(特に産業廃棄物のゆくえについて)	30代	女	主婦
	改装健在塗料でやられ化学物質過敏症で空気清浄機を使っても苦しく、食べ物も無農薬のものしか食べられないので、東京の北里病院に名古屋の方は上飯田病院を紹介してもらいましたが、薬が合わないのか一向に変化がなく困っています。このような方が沢山おられ話し合いの場も欲しいと思います	50代	女	
牧先生の健闘が光っていた 困難な題材でよく頑張られていた	一般の市民向けのイベントを、どうして平日にやるのか?	60代	男	その他の研究者
これからの取り組みが(具体的な)、よくわからなかった。スパンも?		30代	男	化学物質関係 業界(研究者含む)
マスコミも大切で情報する量によって化学物質が商品からなくなると・・・?・・・。子供たちの今いる環境と、私のような年をとった人の環境はかなり違っている。今の子供はこれが当たり前と思っているのでは。 ホタル・メダカ・カエル・松茸も私の田舎で見られなくなった。		70代以上	女	主婦
各発表者のまとめの図表(結果)を印刷物で入れて欲しかった。インターネット(環境省)で公開してください。	我が国の野生動物は、今どうなっているのか? 環境ホルモンの影響以外の影響も含めて影響をテーマに!! 野生生物の経年(長期)的な分布の変化が知りたい。	60代	男	その他の研究者
養老さんの考え方はおもしろく、新たな発見がありました。 国を代表する機関の研究者に危険性を試験管や動物実験からしか感じられない研究者が多いのではと不安になった。「取組の現状」はつまらない。新たな発見もなければ、現状も今後も何も見えてこない。 文章を読めばいいことばかりで、あまり意味がない。 未来この研究はもっとドラマチックなものであり、注目される分野であると思う。もっと一般に考えてもらような発表にして欲しい。 一般参加のシンポはもっと行うべきだと思う。 判んないなら、判んないという事を情報として伝えることは大切だと思うから。	シア・コンホール氏等 危険性があるかもしれない事について警鐘を鳴らしている科学者の話 一般参加のシンポをもっと開催して欲しい。 年1回(各都市くらいはお願いします)	30代	女	学生
とてもみなさん正直に・素直に意見を交換され、好感を持ちました。	かつてのように対立構造ではなく、一緒に議論してこういう環境づくりを意図される、環境省の方々に拍手!!		男	自営業
授業のVTRで、子供が比較的冷静に判断していることが非常に印象に残った		30代	男	
一般向けセッションは休日に行ったらどうか? あるいは平日なら夜に2日かけて行うなど。仕事を持っている人でも参加できる時間帯にしたほうがよいと思う。	過去7回のシンポジウムでそれぞれ何が問題となり、何が話し合われたかを総括する必要があるように思われる。一般の人が知りたいことは「カップラーメンを食べたらどうなるか」「自販機でカップコーヒーを飲んだらどうなるのか」「母乳を飲ませたら子供はどうなるのか」というレベルのことである。「とりあえずどうすれば安全な生活を送れるのか」ということ。この国際シンポジウムの一般向けのプログラムは、そういうことについて十分に答えられていないと思う。我々の生活に密接なことなのかどうかすらわからない話を議論されても、混乱するばかりである。	40代	男	その他の研究者
司会者のリードがよかった。		50代	男	化学物質関係 業界(研究者含む)
	異分野(異業者)の研究者やその他のEEDに関する意見や考え方について聞きたい。	40代	男	その他の研究者

あいさつが悪い		50代	男	化学物質関係 業界(研究者 含む)
環境ホルモンとは関係が薄い話が多かったのではないかな。		20代	男	その他の研究 者
「コミュニケーション」がとても重要だということを改めて感じた		40代	女	その他の研究 者
養老先生の人気につられての参加だったが、思ったよりまじめで良いシンポジウムでした。もっと宣伝すれば人は集まるように思えます。	地味だけれど、大変興味深く参加できました。小学校の取組みが大変努力していると思いました。これからもずっと続けていってほしいと思う。難しくてもやらなければいけないことはやっていかなければ。	50代	女	行政関係者
答えのないシンポジウムとしては良かった。		40代	男	会社員
議論だけでは何も変わらない。方針を定めて行動する事が重要。『兵は拙速をもって聞くもいまだ功久を見ず。』ですよ。人間は分相応が一番。	レイチェル・カーソン『沈黙の春』の再評価。講師例：広瀬隆、般瀬俊介etc.発言が権力者よりの人や、予測できる人は不用であります。	40代	男	その他の研究 者
一般向けとしてつまらない。	形式を考えてほしい。場所は、日本の中央、東京-名古屋ラインがいい。時間は半日。	40代	男	その他の研究 者
最初の養老先生の話だけを聞いて帰る人(特に女性)が多かった。そういう人達が環境ホルモンのようなわからない問題を非常に問題だとさわぐのではないかと感じた。		20代	女	行政関係者
環境ホルモンについてある程度、今現在の具体例を出していただければよいと思います。まだ日本人にとって、すでに起こっている現実危機感を持っていないと思います	本日のテーマを続けてその後の進展をふまえて講演等をして下さればよいと思います。講師・時間等は今回と同じでよいと思います。	50代	男	食品会社
	環境問題をテーマに市民も対象のシンポジウム	40代	男	行政関係者
こういう議論・考え方を普通にできるような社会になって欲しい。○×の議論を求めるのは良くないと思います。		40代	男	行政関係者
環境ホルモンについてあいまいな印象があったが、自分の考えだけでなく現在の状況があいまいだという事がわかり納得した。		50代	男	自動車部品会社
何度かこのシンポジウムに参加しているが、今回は非常にレベルが高いと思う。事前調査が行き届いており、議論進行も好ましかった。		40代	女	その他研究者
住民一人ずつの価値観があるから、自分が譲れることをそれぞれがやっていくしかないのではないかな。結果として国民の総体が選択した方向に行くと思う。環境選択肢が個人に与えられる方法もあっても良いかもしれない(分煙のように)		50代	女	行政関係者
	ハワード・バーン(カルフォルニア大)	30代	男	その他の研究 者
人体への影響(食物連鎖)についてもっと恐さを知りたかった。	発癌のメカニズムについて説明して欲しい。(こういった大きな会場で昼間)	50代	女	環境市民団体
会場からの意見を吸い上げて欲しかった。	研究者(産・官・学)の社会責任について	40代	男	その他の研究 者
フロアからの参加をもっと取り上げるべき	一般向けのポスター発表	40代	男	その他の研究 者
	企業と行政の信用がないのは都合のいいようにデータや情報を改ざんするから	30代	女	
だからどうしたらいいのか…むずかしい問題ですね		30代	女	会社員
年に何回もこのような場所を作ってください。自分では環境ホルモンはわかりません。自然が表しています	子供達の永く幸せに暮らすために永久に続くためにうたがわしいことはうたがいます。企業ももっと考えてください「命のために」	50代	女	
とっても興味深かった。特に考え方として		50代	男	行政関係者
環境省からのもう少しわかりやすい多くの資料の提供がほしい。(Speed'98の資料のほかに)		50代	男	行政関係者
環境ホルモンに安全、安全でないという結論が出せないというコメントに驚いた	実際にどのような科学物質が環境ホルモンとなるおそれがあるのかに関して議論して欲しい。できれば大阪で開催してほしい。	20代	男	化学物質関係 業界(研究者 含む)

	青山、奥野、上家氏に基準値以下のフタル酸ノビスフェノール入り飲料を飲んでもらいたい。数値が明記されたもので。	50代	男	その他の研究者
5年でSpeed'98などの取組を終了、確定するのは早すぎる。影響が遅発性のもの、人への進入が難しいものを解析する場合、5年計画では短すぎません。	マスコミ(社会派)VS研究者VSTV関係エンターテイメント(芸能人)など異分野同士のディスカッションを行ってほしい。→結局専門家のみで一般人に受け入れられにくい	30代	女	学生
重大、重要なテーマであることが理解できた。	学術的な話と生活的な話の結び付け方	50代	男	公益法人
	一般向けの範囲で、「確定した成果」のみに留まらず、本年度の発表内容をふまえた研究の方向性の紹介を加えてはどうか?	60代	男	行政関係者
わからないことが多いことが判ったが、やはり不安は残る。人間に影響がでたときには遅い。その前の段階でとめるにはどうしたらよいか。情報公開の第一歩と思う。行政企業サイドから消費者サイドへ転換すべきか。		70代以上	男	その他
むずかしいことを考えていきたい。善悪の問題か否か。真にむずかしい。最後に大分わかるようになった。		50代	男	その他
7回目になっても、結局よくわからないことの多いシンポでした。もう、この企画は廃止も含めて、見直しが必要だと思いました。		50代	男	行政関係者
	野生生物への影響について、土曜日、首都圏(東京周辺)	30代	女	その他の研究者
環境ホルモンについての理解よりもごとの考え方をよくわかった。		50代	男	行政関係者
わからないことがよくわかった。	あまりなじみがなかったが、パネルディスカッションがとてもおもしろくてよかった。時間が長かったがあまりきにならなかった。	30代	男	行政関係者
国の方で年間調査した結果、大丈夫な物質(今の確認中で)についてはそのような評価をきちっと出してはどうなのか。物質ごとにもっと不快調査が必要とを示すべき。		50代	男	行政関係者
環境ホルモン自体について自分の知識不足を満たしたいと思っていたので、その点ではやや不満であるが、SPEED98の内容をしたことは良かった。	一般向けのセッションならもう少しintroductionの部分を多くした方が理解を深めることになると思う。	70代以上	男	
システムをこわすキーポイントをさがすことは重要と思った。		50代	男	行政関係者
定期的、取組の現状を把握していきたい。正しい情報をつかんでいきたい。	養老猛司先生の講演をまた聞きたい。	20代	男	その他の研究者
実際の研究者の現場(研究正解)と環境省の上家さんの知識・理解度に随分隔差があると感じた。「わからない」と国の人間に問谷言われては困るし、もっと研究成果の情報収集をお願いしたい(研究者たちは少ない研究費で多くのデータを出しています)「わからないにもレベルがある(室山さん)の言葉は印象的でそれがとても重要だと思います。牧先生のレポートならびにそれに対するパネラーの方々の意見は大変参考になった。そして感銘を受けた。子供たちに正しい感性を育ててもらえる教育が次世代にとって重要な事と思った。	環境ホルモンの実体(態)調査、作用秩序などを正しく伝えられるもの。	40代	男	大学教授
	化学物質問題全体の問題として、社会のシステムをどう考えていったらよいかの議論が必要ではないか。	50代	男	行政関係者
	座り心地の良いイス	40代	女	
	環境全般に関して	40代	男	その他
	身近な生態系の変化を事例をあげて聞きたい	50代	女	行政関係者
人が生きていくには、人の要求のせいだ。。。でもいた仕方ないのかも。		30代	男	団体職員
予定されていたパネラーがでられなくなったのなら、そのことにふれ、理由等、説明をすべきである。(それに引かれて来た人いるはず。後から出るなら、そう説明してほしい。顔ふれを見て帰ろうと思った。		40代	女	行政関係者
現象として表れてくるものより、学問的な研究調査の問題よりも社会問題であることがよくわかった。	環境省は面目にとらわれずに問題を分けて、社会的な面と科学的な面に分けて考えた方がよい。	60代	男	化学物質関係業界(研究者含む)

風評に関する最低限の知識がほしい。	現在のデータの(他の分野も含め)信頼性をはかる上で統一基準(1-10のような・1/10000とか。危険度を紫外線による影響度と比較出来るとか、わかりやすく)をもった公表データを、企業、行政も含めて出していきたい。	40代	男	
昨年のシンポは環境省の『自画自賛』的な色彩が強かったのですが、今年は『苦悩する環境省』が前面に出ており、とても興味深かったです。	こと環境ホルモン問題に関する限り、来年もこのような国際シンポを開催するのは、明らかに税金のムダづかいだと思います。今回で最終回にしていきたい。	40代	男	いち市民
わからないことがわかったと何度も言われていたが、わからないというより危険性がはっきりしてきた物事もいくつかあり、また環境中に多くの化学物質が蓄積されてきたことが、はっきりしてきていると思う。どう対策をたてるのかの方が重要で全体の方向性の現状認識が甘いと感じた。	ディスカッションメンバーは、研究者の中でも企業タイプの方が多いようで、かたまっていくように感じた。公平な考えをもつ研究者を選んでほしい。もしくはいろいろな意見をもっている人を出すべき。	50代	女	その他の研究者
	大きい画面があって広い会場でも大変わかりやすかったです。	30代	女	行政関係者
	リスクコミュニケーションをテーマに、問題を抱えている現場で現場の報告を聞き、問題解決の方向性をディスカッションするような方式を考えています。	40代	男	環境コンサルタント
会場でカメラのシャッターの音がうるさかった		40代	女	
人にマスコミは主に事件を報道するものという事を理解してもらわなければならない意見に大賛成。部分的にかじって、一つの悪い結果だけ見てさわぎたてるような事のないよう、冷静に対処しようと思いました。		20代	女	学生
司会の方が、何度もマニュアルと言っていたが、本来教育にマニュアルなど必要ない。マニュアルがなくても動ける人が減ったことを認識した。	今の時代、マスコミの情報により世論を操作することが簡単になっている。マスコミはより慎重に情報を伝えてほしい。	30代	男	化学物質関係業界(研究者含む)
学校での教育のセッションは取上げ方の巧みさで大いに意味があった。		70代以上	男	化学物質関係業界(研究者含む)
室山さんの司会、大変テンポがよくおもしろかったです。井口さんや、養老先生のように、冷静な話ができる科学者をパネリストにしたのは正解でした。	これまでどおり学会とシンポの組み合わせでやってくれないとシンポジウムに参加できません。	30代	男	その他の研究者
パネルディスカッションは大変おもしろかった。	環境リスク評価・管理の実質研究に従事している先生方に参加してもらったらもっと良かったと思う。特にパネルディスカッション。中西準子(産総研)がおすすめです。	30代		化学物質関係業界(研究者含む)
特に奥野さんの発言についてですが、一般向けのシンポジウムであるとの認識がうすいのでは？	今回のようで良いです。	30代	男	その他の研究者
このような機会を増やすのと、皆で考える社会を作るようなものをしていく		30代	男	その他の研究者
特別な問題ではなく、昔も今もメディアは、平等な報道が必要と思う。毒性分野の一つである。		40代	女	化学物質関係業界(研究者含む)
「post speed 98」的な公式文書が心配。新たな問合せへの対応への悩み		50代	男	化学物質関係業界(研究者含む)
ホルモンとは内分泌腺で作られる化学物質で生態のホメオスタシスを保つ物質と理解していたが環境が作るものでもなく人が作る化学有性物質で、逆にホメオスタシスをこわす物質をなぜ環境ホルモンというのか。	野生動物への影響も果たして環境ホルモンだけの影響かどうか。ごみ処理場dioxinのように因果関係がはっきりするような研究、どういう製造物から何がどれくらい出るのという対応をとるべきかという発表が欲しい。	70代以上	男	その他の研究者
国際会議で環境ホルモンの危険性を更に市民に広報した方が良い。	養老先生と井口先生との公開討論会を札幌で開催希望。	50代	男	その他の研究者
取組状況にもう少し時間をもうけて、わかりやすく説明して欲しい。	リスクコミュニケーションは理想論で終わってしまいがち。実際の取組を多数紹介する形式が良い。	30代	男	行政関係者
いろいろな見方からの意見が聞けて興味深かった。		50代	男	化学物質関係業界(研究者含む)
ディスカッションの方が良く理解できます。		60代	女	主婦

企業の信用が薄いのは、研究者の動きが見えにくいからだと思う。わからないことを発表することはもっと積極的にしたほうがいいと思う。		10代	男	学生
わからないことがわかったという結論はよく理解できたが、今後、行政、研究者等がどうしていくのがまったく分からない。上家課長の一緒に考えたいというのわかるがどう考えていきたいのかわからない。		20代	男	行政関係者
貴重な時間の中で30分も挨拶に費やしている。こういうやり方ではいつまでたっても市民は積極的に参加しないと思う。誰の為のシンポジウムか！チラシの裏の紹介を見ても本来ならパネリストの方の略歴を載せるべきではないか。内容はとても良かった。	全体にもう少し市民に分かりやすいもので、もっとテーマを絞ったものが良い。	40代	男	行政関係者
SPEED 98 の成果についてコンパクトにまとめられていて判りやすくてよかった	パネルディスカッションはもう少し短くしても良い。場所は東京近辺	50代	男	その他の研究者
旧聞のDDT、TBT、の影響紹介は現在の取組みとは関係ない。発表者の見識が低いのではないかな？		50代	男	化学物質関係 業界(研究者 含む)
分かっている事をつたえずに「わからない」としている点に不満。環境者主導で、「わからないこと」を丸投げにしている感じがした。	問題をあいまいにすることなく、開示の中で「わかる」話をすべきであろう	50代	男	その他の研究者
影響評価、分析の部分もう少し力を入れて欲しい	あいまいなものをどう伝えるかと言う話もありましたがマスコミを含めて、あいまいな事を伝えることが重要だと思います。白黒がはっきりしていないものには価値が無いというのは理論社会に於ける欧米の考え方の負の部分だと考えます。元来日本人はあいまいな中でも上手くやっていくのが上手な民族だったはずですよ。	50代	男	その他の研究者
	出来るだけ多くの人間が参加できる場所、形式が重要。北野大と北野武の環境対談を企画して欲しい。	30代	男	その他の研究者
結論が出る問題ではないが、シンポジウムの内容は興味深い。構成展開とも良い		50代	男	行政関係者
パネルディスカッションは大変面白かった。珍しいくらいまれるぎろんがかみあって進行した。		50代	男	化学物質関係 業界(研究者 含む)
社会システムの変革が必要かなと思った		40代	男	会社員
室山氏が「情報を出す側にも問題がある」といったことにはがっかりした。未整理なfactの山から、他人に伝えられる形を作り上げるのがマスコミの仕事だ。そのためにマスコミは科学がわかる人材を育成すべきだ。勉強も努力も放棄して「いい情報を出せ」はおかしいだろう。	企業人もパネラーに。	40代	男	化学物質関係 業界(研究者 含む)
上家さんへ、水俣病だけではなく。いざはや湾の環境アセスやミドリ十字の件(環境省ではないけど)などやっぱり行政を信じるのは難しいですよ。心底不信感があるのです。奥野さんへ、御用学者、企業学者はやはり信じられませんよ。市民の本能的な判断です。	土曜日だとほかの方がもっと出席しやすい。	40代	女	NPOスタッフ
いよいよわからなくなった。	近いところでお願いします。	70代以上	男	環境審議会
他の化学物質以外の影響とのバランスも視野に入れて検討されればよかった		40代	男	行政関係者
		40代	男	行政関係者
非常に勉強となった。	リスクゼロは社会生活上はありえないとの認識を社会の共通概念とするような試みが必要。	50代	男	化学物質関係 業界(研究者 含む)
風評被害による汚名を返上するためにリスクコミュニケーションが必要といながらも、専門用語を使わずに説明が出来ないのは本気でコミュニケーションをするつもりがないように聞こえる。「国際交流をしましょう。だから日本語を覚えて」と言っているよう。		30代	女	化学物質関係 業界(研究者 含む)
	北海道の田舎(自然のなかでのシンポジウム)	30代	男	行政関係者
	NPOなどの環境への取組み	30代	男	行政関係者

「環境ホルモン」とは具体的に、明確に何を指すのか依然不明。(理解できない) *有機化学物質も含めて金属といえば具体的に固有物質名をあげる。	国際シンポジウムであるから外国人に日本の現状を知らしめるために一般セッションも通訳が必要。多くの省挨拶は不要	60代	男	化学物質関係 業界(研究者 含む)
有名人の講演で人を集めるシンポジウムの延長線的なシンポジウムでは。牧先生と一度お会いしてみたいです。わーと騒いだら、よくなって、ブームが去っ	環境学習の実態、事例について。今の●●●(判読不明)が10年後に●●にくるときが確実に本格化するのではと思っています。	60代	男	年金生活者
行政がテレビより信頼度が低いのは信じられない。視聴者がテレビの言うことを鵜呑みにしてないか。昨今は視聴者も見目よくなってるから、もっとテレビ番組の質をあげてもいいと思う。	他環境問題について。	20代	男	学生
取組の現状でパブリックコメントがあるとっていたが、難しくて一般市民にはよくわかりません。		20代	女	
一般向けセッションの目的がよくわからない。講演、取組みの現状、パネルがばらばらである。		40代	男	行政関係者
先にどの程度の「問題があるのか明らかにするのが先決である。		50代	男	化学物質関係 業界(研究者 含む)
不謹慎ですが面白かったです。私は上家さんのご意見に賛成でいろんな人が考えるべきだと思います。こういう会はやるべきだと考えています。	牧先生のように、何か実践されている方がよいです。	30代	女	その他の研究 者
養老先生の「脳」に関する講演を2月に拝聴し、次は「ホルモン」の話ということで養老ファンのようにきましたが、むずかしい題材のごとく無知のものにはむずかしかったです。しかしもう1つの期待してきた学校のようなは実際小学校に勤務しているもの(教員)にとっては手にとるようにわかり、とっても貴重な内容で満足しています。シンポジウムの進めかたやそれぞれの立場からの声もとてもリアルでよ	子供の健康問題。今回のような場所、形式など満足しています。もっと養老先生の話がききたいなあとと思っています。	50代	女	養護教諭
最前線に立っている人が「わからない」ものは「わからない」と正直にしてくれるということに安心した。		30代	女	その他の研究 者
パネルディスカッションは期待していなかったが、非常に良かった。時間を充分にとってプロの進行であったのがよかったのではない。	環境省および他省庁の種々の調査、研究成果の説明、取組の現状であったような内容をもう少し詳しく知りたい。		女	行政関係者
①リスク評価の手法や方法について、一般的にわかりやすくひろげることが必要なのではない。②企業は自然界にもれない市場の確保が可能だろうかと思え込んでしまう。③奇病は製品物質のリスク調査を好評できないのだろうか。使用する責任がある。④安全確認できないのに市場に出回る不安。	講師 中西準子 場所 名古屋 形式 一般の人でも参加できるように	50代	男	化学物質関係 業界(研究者 含む)
答えがわかっていない問題でまたすぐに顕著にあらわれるわけでもないのに、取り組み方、伝え方、理解に苦勞するなあと感じた。		30代	男	会社員
問題はホルモンだけでなく、社会システム全体にあると感じた	養老先生の講演は大変おもしろかった。また聞きたい。	20代	男	教職関係
	中西準子さんの環境リスク学 自動車排出ガスが環境に与える影響の現状	30代	男	行政関係者
	科学物質のリスク評価 リスク管理	40代	男	化学物質関係 業界(研究者 含む)
今回のシンポジウムは現状報告の時間が短い	海外の規制	70代以上	男	調査研究
おもしろかった。	また養老先生にきていただきたい。		男	学生
学者の方の考えの深い方、ちょっと浅い方とはっきりわかれていたと思う(養老先生は前者！)	楽しいシンポジウム	20代	女	
ひとつのことにとらわれないよう、おおくの情報収集ととらわれない判断。いろいろな角度からみる柔軟な思考で自己判断する		40代	男	自営業
今回はすべて生殖機能に関する話であったが、生殖に問題がないから安全な化学物質ということにはならない。	神経毒性に関する話が必要	40代	男	その他の研究 者